

みんなく映画会

みんなくワールドシネマ

映像に描かれる〈包摂と自律〉



©2009 Warner Bros. Entertainment Inc. and Village Roadshow Films (BVI) Limited. All Rights Reserved

第一回 オープニング上映会

2009年 **9月26日** [土] 13:30~16:30 (開場13:00)

場 所 国立民族学博物館 講堂

参加料 **無料** (ただし、常設展・特別展をご覧になる方は別途観覧料が必要です。)

定 員 **450名** 整理券番号順にご入場いただけます。
整理券は10:00より講堂入り口にて配布いたします。
事前申込は不要です。

主 催 国立民族学博物館

グラン・トリノ GRAN TORINO

2008年/アメリカ映画/英語・モン語 日本語字幕つき/117分/シネマスコープサイズ
監督・主演/クリント・イーストウッド
出演/ビー・パン アーニー・ハー クリストファー・カーリー

「アメリカ映画に見る包摂への道」

解 説 柴崎友香 (作家/「その街の今は」織田作之助賞大賞受賞)

乾 美紀 (神戸大学・国際交流推進本部・特命准教授)

司会・解説 田村克己 (国立民族学博物館・教授)

お問い合わせ 国立民族学博物館 広報企画室企画連携係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL. 06-6878-8210 (平日9時~17時) <http://www.minpaku.ac.jp/>

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

 国立民族学博物館

関西から
文化力
POWER OF CULTURE

みんなく映画会

みんなくワールドシネマ

映像に描かれる〈包摂と自律〉

国立民族学博物館では2009年秋から〈包摂と自律の人間学〉をテーマに新しい機関研究を開始します。この機関研究と連動して、テーマにふさわしい映画を選び、研究者による解説付きの上映会を実施します。今回はオープニング記念として、作家の柴崎友香さんをお招きして、多様な価値観をもつ人びとと共生する社会のあり方をみなさんと一緒に考えたいと思います。

第一回 オープニング上映会

2009年9月26日(土) 13:30~16:30(開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料 (ただし、常設展・特別展をご覧になる方は別途観覧料が必要です。)

定員 450名 整理券番号順にご入場いただけます。
整理券は10:00より講堂入り口にて配布いたします。
事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

「グラン・トリノ」

2008年/アメリカ映画/英語・モン語 日本語字幕つき/117分/シネマスコープサイズ
監督・主演/クリント・イーストウッド
出演/ピー・パン アーニー・ハー クリストファー・カーリー

映画解説

人気スターから監督業にも進出し、世界中の映画人が、心より敬意を表するクリント・イーストウッド。80歳を目前に控えてなお意気盛んな名匠が、“最後の主演作”に選んだ1本は、正義と暴力との間で苦悩するアウトローという、これまでの集大成的な主人公の人生の落とし前に、胸打たれる傑作だ。愛犬相手にビールをおふる、偏屈な男やもめの単調な日常を変えたのは、彼の愛車・グラン・トリノを機に、奇妙な信頼関係で結ばれていく、隣りに住むアジア系移民の少年。朝鮮戦争、ベトナム戦争、9.11など、米国の負の近代史を巧みに織り混ぜつつ、人種や世代を超えて受け継がれるべき、人間としての誇りに、イーストウッドの想いが込められている。

「アメリカ映画に見る包摂への道」

解説 柴崎友香 (作家/「その街の今は」織田作之助賞大賞受賞)

乾 美紀 (神戸大学・国際交流推進本部・特命准教授)

司会・解説 田村克己 (国立民族学博物館・教授)

『国境を越えた民族のつながり』 乾 美紀

アメリカにはラオスからの難民、モンが20万人以上暮らしているが、この事実はアメリカでも一般には知られていない。モンは約5000年前から中国に繁栄していたが、中国を追われ一部が東南アジアの山岳地帯に移住した。モンは一度として自分の国を守れたことがないのだ。ベトナム戦争がまた彼らの歴史を変えた。山岳地帯での戦いに強いモンは、米軍の傭兵となり反共活動を行った。そしてベトナム戦争に負けた時に行き場をなくし、アメリカに難民として移住せざるを得なかったという複雑な歴史を抱えている。現在でも彼らはアメリカで蒙の旧正月を祝う祭りを開催したり、英語しか話せなくなった子どもたちにモン語を教えるなど、積極的にそして静かに彼らの文化を保っている。



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立民族学博物館

「包摂と自律の人間学」

グローバル化の進展にともない、日本国内にはすでに200万人以上の外国籍の人びとが居住しています。また、17組に1組が国際結婚をしている時代です。多様な文化的背景をもつ人びととの共生を実現するために、どのような社会を築いていけばよいのでしょうか。新しい機関研究「包摂と自律の人間学」では、人々の違いを承認=〈包摂〉し、移民や難民に限らず、無国籍者、障害者、失業者など社会的に弱い立場にある人びとが自分らしさを生かすこと=〈自律〉のできる公正で平等な社会を実現する方策について考察します。そして、世界各地に視野を広げて、支援の現場を検討してゆきます。

交通のご案内

*国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博公園内にあります。「みんなく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分

*映画会のみ参加される方は、自然文化園を通過する際、入園料が必要となります。ただし、常設展・特別展をご覧になる方は、みんなくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。

「公園東口駅」下車徒歩約15分

*「公園東口駅」からは自然文化園を通過せずに来館できます。

●バス

〔近鉄バス〕(阪大本部前行行き) 阪急茨木市駅から約20分

JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分

〔阪急バス〕(万博記念公園駅経由千里中央行き)

阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分

「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。

下車、徒歩約5分

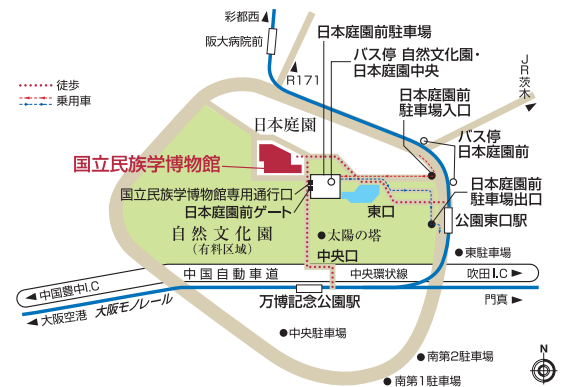
●自動車

駐車施設が無い「みんなく」への車の乗り入れはできません。

万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。

最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



お問い合わせ

国立民族学博物館 広報企画室企画連携係
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL. 06-6878-8210(平日9時~17時)
<http://www.minpaku.ac.jp/>



●第二回 上映会 10月31日[土]

「そして、私たちは愛に帰る」

2007年/トルコ=ドイツ合作映画/ファティ・アキン監督作品



〈関連資料を講堂前ロビーにて展示〉

©宮脇千恵(総合研究大学院大学・大学院生)